



環境省報道発表



令和5年1月17日（火）

令和4年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築 実証事業（補助）の公募結果について

1. 環境省は、脱炭素社会構築に資する資源循環システム構築の加速化を図るため、従来型のプラスチック利用を段階的に改めることとしています。
2. 本事業は、化石資源由来プラスチックの代替素材開発や、プラスチックのリサイクル技術・システム高度化など、技術的課題を解決し事業化に向けて必要な実証を行うものです。
3. 令和4年度事業について、補助事業の4次公募を令和4年9月6日（火）～同年10月3日（月）の期間で、5次公募を令和4年10月17日（月）～同年11月14日（月）の期間で実施しました。
4. 同事業に応募のあった案件について、申請書類による事前審査及び有識者で構成される評価審査委員会における審査を行い、採択すべき事業を選定したのでお知らせします。

<詳細は次ページ以降>

内容についての問合せ先
環境省環境再生・資源循環局
総務課リサイクル推進室
代 表：03-3581-3351
直 通：03-5501-3153
室 長：水谷 努
室長補佐：彦坂 早紀
室長補佐：持田 雅宏
担 当：倉石 真純
担 当：土金 直樹

■ 「令和4年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」の公募概要

環境省では、低炭素社会及び循環型社会構築に資するプラスチック資源循環システム構築の加速化を図るため、従来型のプラスチック利用を段階的に改めることとし、化石資源由来のプラスチックを代替する再生可能資源由来のバイオプラスチック等への転換を推進しています。

また、従来リサイクルが困難であったプラスチック等素材に対するリサイクル技術・システムの高度化を図り、プラスチック資源循環システム全体でのエネルギー起源 CO₂ 排出の抑制を目的とした以下の事業を行います。

- ① 化石由来プラスチックを代替する省 CO₂ 型バイオプラスチック等（再生可能資源）への転換及び社会実装化実証事業
- ② プラスチック等のリサイクルプロセス構築及び省 CO₂ 化実証事業

■ 選定結果

本事業の4次公募に対し2件の応募があり、申請書類による事前審査及び有識者で構成される評価審査委員会による審査を行った結果、採択事業はなしという結果になりました。

また、5次公募に対し2件の応募があり、申請書類による事前審査及び有識者で構成される評価審査委員会による審査を行った結果、以下1件（リサイクル事業1件）の事業について選定しました。

事業者名 (五十音順)	事業名	事業の概要
① プラスチック等のリサイクルプロセス構築及び省 CO ₂ 化実証事業		
株式会社日興商事	使用済みフィルムから100%再生袋を製造開発する実証事業	汚れ・異物・他素材の混入等のためリサイクル困難な使用済みポリエチレンフィルム(PE)を、分別・高密度メッシュにより再生する。また三層インフレーション成型により、単体ではフィルム成型が(気泡やコンタミ等により)難しいペレットも無駄なく活用し、100%再生袋を製造開発する実証を行う。

以 上